

東北中央自動車道開通記念イベント報告

万世大路研究会

大滝会特別会員 鹿摩 貞男

東北中央自動車道開通記念イベントが開催されたので報告します。

東北中央自動車道開通記念イベント

東北中央自動車道 (E13) ^{ふくしまおびそ}福島大笹生IC～^{よねざわきた}米沢北IC 間 L=35.6 kmが平成 29 年 11 月 4 日 (土) に開通します。それを記念するイベントが 10 月 29 日 (日) に開催されました。

当日は雨天にもかかわらず多くの市民が参加しました。イベントの主なものは、延長 2,089 mの大笹生トンネルのウォーキングでした。

〈開通記念イベント〉

【写真-1①】～【写真-6】 22 枚



【写真-1①】 フルーツライン(県道 5 号、上名倉飯坂伊達線)からイベント会場への入口。満車で引き返す車もでた模様。



【写真-1②】 駐車場は大渋滞、転回所で折り返し1km 先の IC 出口付近に駐車。



【写真-1③】 駐車はこの先。



【写真-1④】 イベント会場付近。大笹生トンネル電気室付近から大笹生 IC 出口付近まで約1km にわたり両側に参加者の車両駐車。



【写真-2①】 イベント会場では除雪車等はたらく車の展示。



【写真-2②】 東北中央自動車道のパネル展示。後ろの建物は電気室。



【写真-2③】 記念プレゼントや施設見学会「150名様」で終了(9時開始と同時に終了)。



【写真-3①】 大笹生トンネル福島側坑口



【写真-3②】 大笹生トンネル標示板 (完成)2011年2月 延長 2,089m、巾 9.5m、高 4.5m



【写真-4①】 『東北中央自動車道』開通記念イベント・大笹生トンネルウォーク 平成 29年 10月29日



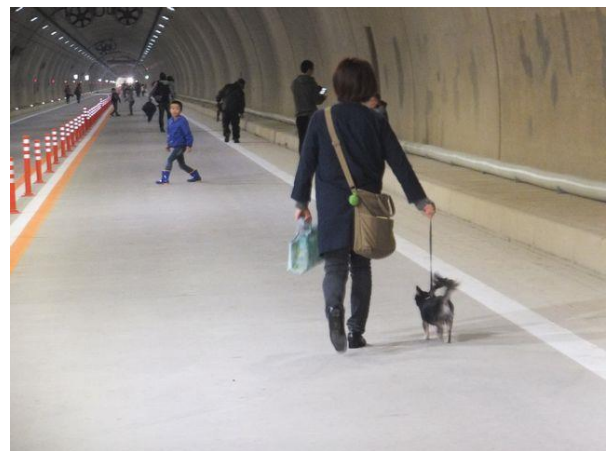
【写真-4②】 ジェットファン2基並列設置



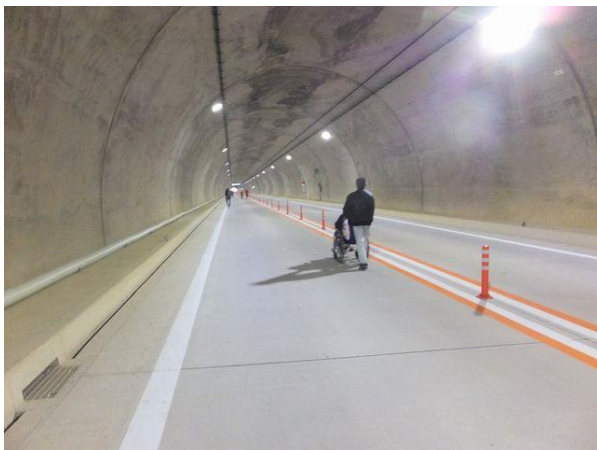
【写真-4③】 中心部近く、ジェットファン1基のみ 設置。



【写真-4④】 バス通過(施設見学会用)



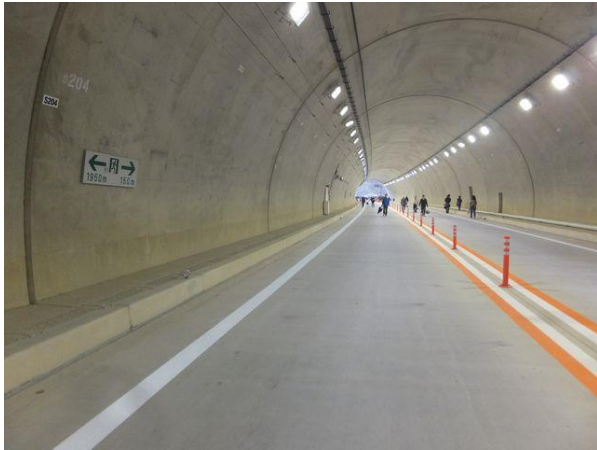
【写真-4⑤】 わんこも参加



【写真-4⑥】 車椅子参加者



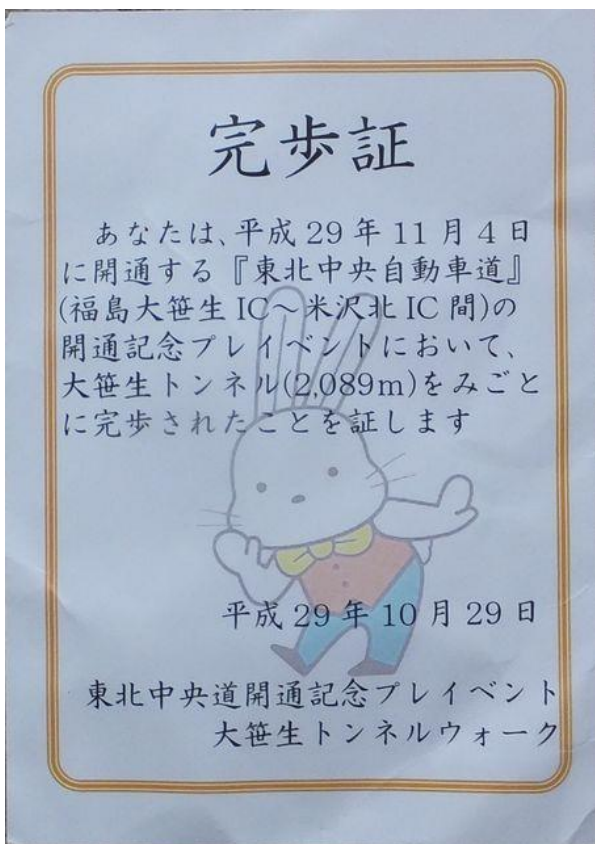
【写真-4⑦】 トンネル内案内標識



【写真-4⑧】 米沢側坑口付近「避難誘導標識」



【写真-4⑨】 米沢側坑口大笹生トンネル「完歩証」交付。



【写真-4⑩】 (大笹生トンネル) 完歩証



【写真-5①】 大笹生トンネル米沢側坑口



【写真-5②】 小川大橋(L=243m)と沖根山トンネル(L=919m)。大笹生トンネル米沢側坑口から望む。



【写真-6】 お疲れ様、大笹生トンネルウォーク終了。
折り返し福島側坑口到着。

10月27日(金)撮影分

【写真-7】～【写真-11③】 7枚



【写真-7】 新高平トンネル(L=499m)福島側坑口を望む。



【写真-8】 大滝地区、栗子跨道橋(L=28.6m)防災ステーション付近(大滝チェーンベース)。米沢側を望む。



【写真-9】 中野大橋(L=754m)、福島側から米沢側を望む。



【写真-10】 朴沢大橋(L=315m)、福島側(A1)から米沢側(A2)を望む。



【写真-11①】 栗子トンネル(L=8,972m)福島側坑口を望む。右は避難用トンネル(L=8,989m)。手前、新西川橋(L=77m)H291027



【写真-11②】 栗子トンネル内福島・山形県境、山形県側を望む。(福島県分 L=5417m、山形県分 L=3555m)



【写真-11③】 栗子トンネル(L=8,972m)米沢側坑口を望む。左は避難用トンネル。中央の建物は栗子トンネル電気室(山形側)。

次ページに新聞報道記事を添付する。

別添福島民報記事参照 その1

別添福島民報記事参照 その2

東北中央道 歩いて見学



開通記念プレイベント

親子らトンネル往復 福島

十一月四日に開通する東北中央自動車道の福島大笹生インターチェンジ(IC)―米沢北IC間の開通記念プレイベントは二十九日、福島市の福島大笹生IC付近で催された。雨にもかかわらず、

十一月四日に開通する東北中央自動車道の福島大笹生インターチェンジ(IC)―米沢北IC間の開通記念プレイベントは二十九日、福島市の福島大笹生IC付近で催された。雨にもかかわらず、親子連れら多くの市民が参加し、新しい道路を見学した。「トンネルウォーク」と題し、参加者が二千八十九回の大笹生トンネルを往復した。折り返し地点で「完歩証」がプレゼントされた。伊

東北中央自動車道の大笹生トンネル内を歩く参加者

達市から訪れた保原小一年の遠藤敏徳君(天)は「建設中からずっと新しい道路を見てみたいと思っていた。トンネルは明るくて広くてびっくりした」と目を輝かせていた。

消防車両や警察車両、除雪車、災害対策車などはたらく車が並んだ。東北中央自動車道の事業概要や整備効果、粟子峠の変遷などを紹介したパネルが展示された。限定百五十人を対象に粟子トンネル施設見学会が開かれた。粟子トンネルで記念撮影、避難坑・換気坑の見学が行われた。

4日に開通式

東北中央自動車道福島大笹生IC―米沢北IC間の一般車両通行開始は十一月四日午後三時予定。同日午前十時から福島・山形両県合同セレモニー、午前十一時ごろから本県側と山形県側のそれぞれで開通式が行われる。



2017(平成29)年
10月30日
月曜日

発行所
福島民報社
福島市太田町13-17
(郵便番号960-8602)

福島民報

2017（平成29）年
10月28日
土曜日

発行所
福島民報社
福島市太田町13-17
（郵便番号960-8602）



未来つなぐ 東北中央道

4日開通

福島大笹生―米沢北間公開

十一月四日に開通する東北中央自動車道の福島大笹生インターチ

キが二十七日、報道陣に公開された。

（30面に関連記事）

国土交通省福島河川国道事務所の担当者が事業概要などを説明した。その後、バスで福島大笹生ICから米沢北ICまでを

報道陣に公開された東北中央自動車道の栗子トンネル内。福島側の入り口から5417メートルに福島と山形の県境がある

案内した。東北最長、全国でも五番目に長い栗子トンネル（延長八千九百七十二メートル）では避難用トンネルなどの安全対策を示した。

同区間は無料の自動車専用道路で、福島―米沢両市役所間は約二十分短縮される。現道の一三号国道は急勾配でカーブが続く難所で、開通により冬季通行の安全性が高まり、物流の効率化による産業振興、観光交流の活性化につながると期待されている。

社 会

(第三種郵便物認可)

公開の東北中央道栗子トンネル

避難用も設置

運転者安全対策

福島、米沢両市にまたがり、東北最長となる東北中央自動車道栗子トンネル(延長八千九百七十二㍎)には、

車線と平行して避難用トンネルが設けられるなどドライバーの安全を守るさまざまな対策が施されている。

避難用トンネルは一車線で幅二・九㍎。救急車が通行でき、約七百五十㍎置きに車線との連絡通路を設けている。

栗子トンネル内には、ドライバーに緊急

事態を知らせるスピードカーや電光掲示板を整

備した。さらに、二百㍎間隔で監視用カメラ

を設置した。車両の蛇行など異常を感知し、福島市の国土交通省福島河川国道事務所にある中央監視室に通知する。七十㍎の非常電話、二百㍎以上の火災検知器が備え付けてある。

同事務所は「事故を防ぎドライバーが安全に走行できるよう努める」としている。東北地方で避難用トンネルを備えているのは、山形県鶴岡市の日本海東北自動車道あつみトンネル(延長六千二百二十㍎)に次いで二カ所目となる。



栗子トンネルの福島側の入り口(左)。右は避難用トンネル



栗子トンネルから避難用トンネルに続く非常口